

事務事業名	白根八田学校給食センター給食事業(保育所給食)		所属部局	教育委員会	単位数	12001					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	教育総務課	課長名	塚原 浩二					
			所属担当	白根八田学校給食センター	担当者名	松下 浩					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 05	細目 020	細々目 02	
政策	23	学校教育の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	保育所児童、職員に安心安全な給食を提供する事業 (巨摩保育所・白根保育所・百田保育所・白根東保育所・八田保育所)5施設			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	平均給食日数:244回			臨時職員賃金	6,849						
	保育所 3才以上児数 434名 職員数 93名 計527名			消耗品費	1,512						
	学校栄養士による食育の指導			賄い材料費	22,238						
			その他委託料	6,814							
			その他	139		計				37,552	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
26年度活動内容	毎月の献立会議等で情報の交換を行い、安心安全な給食の提供をおこなっていく。	⇒	ア 平均給食日数 日
27年度活動予定	毎月の献立会議等で情報の交換を行い、安心安全な給食の提供をおこなっていく。		イ 一日当たりの平均給食数 食
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
保育所児・保育所職員		⇒	ア 保育所児数 人
			イ 保育所職員数 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
給食を美味しく食べることが出来る。		⇒	ア 給食が美味しいと答えた保育所児の割合 %
			イ 病気による欠席率 %
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
給食を美味しく食べられ、正しい食習慣を身につけるとともに、健康で健全な心身の育成を図れるようになる。		⇒	ア 食習慣を理解した保育所児の割合 %
			イ

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	4,287	4,425	4,470	4,478	4,478	4,478	
	一般財源	千円	32,774	32,406	33,082	34,797	34,797	34,797	
	事業費計(A)	千円	37,061	36,831	37,552	39,275	39,275	39,275	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	1,701	1,701	1,701	1,701	1,701	1,701	
	人件費計(B)	千円	7,741	7,741	7,741	7,741	7,741	7,741	0
	(A)+(B)	千円	44,802	44,572	45,293	47,016	47,016	47,016	0
活動指標	ア	日	244.0	244.0	244.0	244.0	244.0	244.0	
	イ	食	543.0	527.0	529.0	537.0	537.0	537.0	
対象指標	ア	人	452.0	431.0	434.0	444.0	444.0	444.0	
	イ	人	92.0	96.0	93.0	93.0	93.0	93.0	
成果指標	ア	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
上位成果指標	ア	%	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和42年4月から給食開始。今の施設は平成15年から稼働 保育所給食は昭和46年4月から開始
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	食文化の多様化による保育児童のアレルギー食の対応や、食育指導の強化等学校給食の管理運営が多様化している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	美味しい給食を提供し感謝されている。 職員からの意見、検食簿、保育所試食会で保護者からの声やアンケート

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	芦安地区へは平成22年度を試行期間として4月より小中学校と共に保育所給食を白根八田学校給食センターで調理し配送している。経費は配送委託料(170100円/年)のみ
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	芦安地区保育所も閉鎖となり、今は安心安全に給食を届けることを第一の目標としている

事務事業名	白根八田学校給食センター給食事業(保育所給食)	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 子供たちに美味しい給食を提供するという事は、「生きる力」をはぐむ学校教育の推進という施策の観点からは結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 近年指定管理者制度や、PFIなどによる外部委託の給食が増えており経費だけ見れば削減してるが、給食献立の内容などは食材の質や栄養価が落ちているのも見受けられる。よって市で栄養職員の責任の下、安心できる食材で給食を提供することは市の義務である。またこの施設は防災機能の役割も担っており、災害時には職員が参集炊き出しを行うため、民間事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 安心安全な給食を確実に届けることが第一の使命である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 今の現状を維持していきながら安心安全な給食を確実に届ける
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 他の調理場、センターからでは提供が出来ない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 他の調理場、センターからでは提供が出来ない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 衛生管理基準を遵守するためには、必要最低限の経費が必要である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 今のセンター職員でもギリギリの人数で時には事務職員も調理室に入るなどの対応しているのでこれ以上の人件費の削減は出来ない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公共施設再配置検討委員会の答申を受けて、芦安保育所に給食を運ぶことが出来き本来の目的は達成されたことになる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	調理員や、厨房機器のメンテナンスを行いながら、必要最低限の経費の中で、安心安全な給食を作る努力を、調理員、栄養士、事務と連携をとりながら実施している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					